

日本製薬工業協会

東京都中央区



拡める

2010年度の製薬企業のCO₂排出量を1990年度レベル以下へ

日本製薬工業協会（以下：製薬協）は、地球温暖化対策を環境保全の最も重要なテーマと位置付け、1996年度に日本製薬工業協会環境自主行動計画を策定・公表した。「2010年度（第一約束期間5カ年平均値）の製薬企業のCO₂排出量を1990年度レベル以下に抑制する」という会員企業68社の共有目標の下で、CO₂排出量削減に継続して取り組んでいる。

目標達成に向け、製薬協環境安全委員会

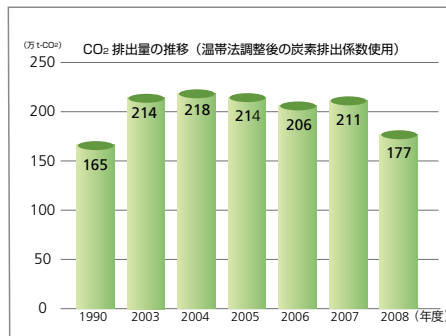
では、液体燃料からガスへの燃料転換、さらに高効率機器を活用したガスから電気へのエネルギー転換をCO₂排出量削減施策として推進している。

目標実現に向け、毎年定期的に省エネルギー・温暖化対策技術研修会を開催し、省エネルギー関連企業、学識経験者、行政などとの情報・意見交換を実施している。近年では、高効率で低炭素化に寄与する「ヒートポンプ」に関する講演を実施。空気熱・排熱利用技術の工場への活用事例を

取り上げるなどして、会員の意識高揚を図っている。

このような取り組みの結果、製薬協における08年度のCO₂排出量は177万t（対目標値：107%）となっており、目標達成が視野に入ったところである。

製薬協環境安全委員会では、「今後も目標達成に向け、会員企業へ高効率機器や蓄熱システムの導入を推進していきたい」と語っている。



日本製薬工業協会の蓄熱システム導入実績

- ファイザー(株) 名古屋工場 2006年**
水蓄熱式システム 熱源機：ターボ冷凍機1,200RT×1基（熱源機更新）、蓄熱槽349m³×1基
- 鳥居薬品(株) 佐倉工場 2006年**
水蓄熱式システム 熱源機：チラー 37kW×1基、7.5kW×2基 30kW×2基（熱源機更新）、蓄熱槽（冷水390m³ 温水79m³）
- バイエル薬品(株) 滋賀工場 2006年**
水蓄熱式システム 熱源機：ターボ冷凍機 350Rt×1基、蓄熱槽 15m³×1基
- 旭化成ファーマ(株) 生物評価棟他 2009年**
エコキュート 蓄熱槽1,380ℓ、ヒートポンプ 計17.7kW
- 協和発酵キリン(株) 高崎工場 2009年**
エコキュート 蓄熱槽3,000ℓ、ヒートポンプ 40kW×1基